

# 第二言語習得研究会（JASLA） 第30回記念大会

2019年12月21日（土）・22日（日）

会場：武蔵野大学有明キャンパス 3号館および1号館  
（東京都江東区有明）

後援：公益社団法人日本語教育学会

## 「学習」の多様化とSLA

基調講演（第1日目）

例外なのか個人差なのか

—第二言語習得研究における多様性の課題と提言—

岩崎典子 氏（南山大学）

シンポジウム（第2日目）

多様化の時代に、SLAの研究手法を再考する

—「質」と「量」をつないでひらく、新しい試みを求めて—

講演1 なぜ「言葉」や「行為」が意味を持つのか

八木真奈美 氏（駿河台大学）

講演2 混合研究法

抱井尚子 氏（青山学院大学）

講演3 習得研究の資料としての学習者コーパスの可能性と課題

石川慎一郎 氏（神戸大学）

コメント

小柳かおる 氏（上智大学）

参加費：学生3,000円・一般4,000円（予稿集・ジャーナル代含む ※事前申込不要）

## 口頭発表表（10件）

- 接触場面におけるアメリカ人日本語学習者の合意形成談話の特徴—提案に対する応答と意見一致を旨とするやりとり—toに注目して—（久保亜希）
- ヘッジ表現を伴う間接発言行為の理解—中上級学習者を対象とした予備的研究—（堀田智子）
- 中国語を母語とする日本語学習者のターン交替形式の特徴—日本語母語話者と比較して—（宮永愛子）
- 上級日本語学習者が苦手な「名詞＋動詞」コロケーションの特徴—中国語を母語とする日本語学習者の場合—（劉瑞利）
- 中国人日本語学習者による「名詞＋動詞」コロケーションの習得—タスク関与・負荷仮説と想起回数との比較を中心に—（姚新宇・菅谷奈津恵）
- 中国人上級日本語学習者の日中通訳過程における記憶メカニズム—作動記憶容量、通訳開始タイミング、呈示手がかりを操作した実験的検討—（王金芝）
- 文法項目の特性の観点から見た日本語の動詞過去形に対する処理指導の効果（Garmeva Olga）
- 日本語多読が読解速度に与える効果—多読アセスメントからの検証—（朝倉郁子）
- 中国語母語話者による二字漢字語の受容—語のタイプ、既知・未知とL2能力に着目して—（陳夢夏）
- 作文データに見る形式名詞コトの習得段階と課題—中国語母語話者と韓国語母語話者による使用から—（趙婷婷・ネケロワ＝マリナ・西内沙恵）

## プログラム

| 1日目                        | 2日目                           |
|----------------------------|-------------------------------|
| 12:30～<br>受付開始             | 9:30～<br>受付開始                 |
| 13:00～<br>開会式              | 10:00～<br>ポスター発表（～11:45）      |
| 13:15～<br>基調講演（～14:45）     | 13:00～<br>シンポジウム（～16:00）      |
| 14:45～<br>総会・事務局からの連絡      | 16:00～<br>閉会式（～16:10）         |
| 15:20～<br>口頭発表 1・2（～16:50） | 16:30～<br>クロージングパーティー（～17:30） |
| 17:00～<br>口頭発表 3・4（～18:00） |                               |
| 18:20～<br>懇親会（～20:00）      |                               |

## ポスター発表（9件）

- 日本語学習者を対象とした動機づけ調整方略尺度の作成（山下順子）
- 日本語学習者が経験する不安の対処法に関する考察—適度なレベルと促進的作用に着目して—（曾田篤敬）
- 日本語使用ネットワークの構築とモチベーションの変化—オーストラリアの大学生の縦断的事例研究—（倉田尚美）
- 事前プランニングは意見文の質を高めるか（西島絵里子）
- 階層的概念地図による作文指導の効果—ウズベク人日本語学習者を対象に—（アリモヴァ デイルシヨダ）
- 知識構成型ジグソー法を用いた日本語学習者の議論深化の効果—学習者の個性性に注目して—（岡田千帆）
- 依頼メールにおける中国人日本語学習者と日本人評価者の重点差異に関する一考察—PAC分析の手法から—（叶国青）
- 資料の有無による意見文の文章構造の比較—台湾人上級学習者を対象に—（楊明翰・菅谷奈津恵）
- 日本語学習者の読解における省略要素の復元—復元における難易度のヒエラルキー—（田中麻美）